

(議長)

次に、「萩原議員」の発言を許可いたします。

「萩原議員」

「萩原議員」

「教育環境の整備について」質問いたします。

昨年の9月定例会で、教育環境の整備について質問しました。答弁で今後補助金の決定の見通し、さらには年末の地方財政状況の見通しに大きな変化が無ければ、平成24年度の最優先課題として、校舎の整備をして参りたいと考えているとの内容でした。今年度は江差小学校・あすなろ幼稚園耐震工事、江差北中学校増築整備、江差中学校基本設計・実施設計があります。平成23年度の決算も出て、実質公債比率20%、将来負担比率116.4%まで下がり、また、7月の地方交付税の本算定も終わりました。12月の地方財政計画や、工事全体の金額も決まっていますが、平成25年度江差中学校は改築出来るのかお聞きいたします。

(議長)

「町長」

「町長」

「教育環境の整備について」のお尋ねでございます。

最初に江差中学校の改築整備の見通しについてのご質問であります。江差中学校の改築整備につきましては、この間耐力度調査の実施、また本年6月定例会での基本実施設計費予算の補正をお願いし、現在契約業者により設計業務を進めているところでございます。特に耐力度調査により、危険及び不適格校舎である事が明確になった状況下では、江差中学校の改築につきましては最優先に取り組むべき課題であると考えているところであります。現在取り進めております基本実施設計は、今年度末までに終了する予定でございます。また、国に対しましても建築計画の要望を行っているところでございます。

したがいまして、江差中学校改築整備につきましては、国の補助金、起債の充当等の財源手当てを慎重に見極めながら、平成25年度に工事着工できるよう取り進めていく考えでございます。以上です。

(議長)

「萩原議員」

「萩原議員」

2 問目いきます。「病院について」なんですけども、6 月 27 日高橋知事が、道立江差病院について、産婦人科医の年間を通した派遣について見通しが立っており、最終的な調整に向けて協議したいと話していましたが、再開時期はいつなのか。

また、帝王切開など麻酔を伴った緊急手術を判断された場合、24 時間麻酔科医を常勤させるのか。

また、江差脳神経外科クリニックの緊急対応について一部、患者の受入れを中止となりますが、休止時間帯、南檜山管内各医療機関とどのように連携していくのか。時期はいつまでなのかお聞きいたします。

(議長)

「町 長」

「町 長」

道立病院についてのお尋ねでございます。まず道立病院についてのお尋ねでございます。産婦人科診療の再開時期はいつかという質問であります。現時点で来年 4 月からの分娩再開に向けた最終調整に入っているとの事であり、私としては道の計画通り、来年の 4 月から分娩再開となる事を固く信じているところであります。しかし、道や道議会で話された内容は確定的状況ではない事は言うまでもないところであり、再開されるまでは気を抜けないものと思っております。

また、24 時間麻酔科医を常駐させるのかとの質問ですが、分娩再開には麻酔科医の確保が必要となるものであり、分娩再開となった場合には当然の事として常勤・非常勤を問わず 24 時間対応が可能な麻酔科医が配置されるものと理解しております。

次に江差脳神経外科クリニックの緊急対応一時休止に伴う中止時間帯との質問ですが、土曜日の午前 9 時から月曜日の午前 9 時までの時間帯と、祝祭日の午前 9 時から翌日の午前 9 時までの時間帯が受入れ不可となるものでございます。

また、南檜山管内医療機関との連携についてですが、脳疾患が疑われる緊急・救急患者については、函館新都市病院救急ホットラインを利用し、救急患者の受入れを行う事としており、管内医療機関並びに消防機関に対し、理解と協力をお願いし、連携は十分図られているものと考えております。時期は 11 月末までとしている様ですが、医師の確保状況によるものとしておりますので、ご理解をいただければと思います。以上です。

(議長)

「萩原議員」

「萩原議員」

今答弁いただいたんですけれども、1点だけ。脳疾患等の場合、時間との戦いになると思うんですよ。それでですね、救急隊が判断した場合、例えば脳疾患と判断した場合にですね、道立等に搬送しないで直接新都市病院に時間との戦いで行ける様な、行けるのかどうかというのをちょっとお聞きいたします。

(議長)

「健康推進課長」

「健康推進課長」

救急隊の場合はですね、原則として必ず一次医療機関に入ります。医師の判断によりまして、必要な措置が取られる事になっております。今回の件に関しましては、一次医療機関の方では受入れは連絡を受けましてご理解されておりますし、道立病院の方も二次救急ですけれども受入れを理解しております。

ただ議員心配の通り、一刻を争う事態が脳疾患でございます。消防との確認の中では一応連絡取りますけれども、その状況によりましてはその医師の判断によりまして、新都市病院の救急ホットラインを使って直接搬送する事も可能であるとしております。原則は原則で道立病院なりの判断を仰ぐ事と思っております。以上でございます。

「萩原議員」

ありがとうございました。

(議長)

以上で、「萩原議員」の一般質問を終わります。